

■シラバスの編成及び実践に関する方針

シラバスは本校の教育目標に沿って、それぞれの学科にあわせたファッション関連の知識、技術の習得を目的として、以下のような内容、作成過程で作成、公表している。

<シラバスの掲載内容>

科目名、履修学科、授業担当者、科目分類、開講時期、単位数、授業概要と到達目標、授業時間外に必要な学修、実務経験を生かした教育内容、授業計画（1回ごとの授業内容）、教科書教材、評価基準と評価率、開講表となっている。

<シラバスの作成・公表>

シラバスの内容は毎年見直しすることにしており、例年12月に各授業担当者が原案を作成、職員会議においてシラバスチェックを含み、協議したのち決定され、新年度に向け授業計画（シラバス）を作成するとともに、本校Webサイトにて公開している。

[\(http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/\)](http://www.fashion.nsc.ac.jp/basic/)

<実践的な教育課程の構築>

アパレル業界等の社会的要求に応じた人材育成ができるよう、教育課程の自己点検評価を行っている。取り分け企業での実務経験を有する教員、講師による授業を多く組み入れ、企業の現状を踏まえた最先端の授業を行えるよう努めている。

<教育課程の編成>

1年次では授業の約7割を共通専門科目として編成し、服飾、更にファッション全体の基礎を学ぶ。更にコースごとに設定された科目において、その特性を活かした専門的な授業を配置し、それぞれの分野固有の知識、技術を修得する。

2年次以降では専門的な科目を配置すると同時に、1年次から継続して就職決定への意欲、意欲の高揚、及び人間性の涵養を促すような科目群がカリキュラムデザインされている。授業の方法としては、演習、実習に重きをおき、加えて学外で開催されるファッションコンテストへの参加、地域貢献行事への協力、学外研修旅行、インターンシップなどを通じて社会性、協調性を身に付けている。また、専門性の高い資格を取得するため実技科目を履修することにより、より効果的に資格を取得し、学生個々の個性を企業にPRできるように考えられている。